

高速電力線通信推進協議会 参加報告書
兼 第3回 高速電力線通信システムとEMC調査専門委員会 議事録

1. 日時:平成 18 年 4 月 27 日(木) 14:00 ~ 16:30

2. 場所:電波産業会 第3会議室

3. 出席者(敬称略、調査委員会委員のみ記載)

徳田(委員長、武蔵工業大学)

森田(三菱電機)

徳丸(住友電工、弘津委員代理)

小川(東京電力)

高嶋(関西電力)

牧(幹事、松下電器)

4. 議 事

「高速電力線搬送通信設備に係わる許容値及び測定法」について

CISPR 委員会許容値案(3月6日 CISPR 委員会にて報告)に関する検討

- ・ CISPR22をベースに検討されるので、CISPR22に整合できるかどうか鍵。
- ・ CISPR22は現在05版まで改版されており、通信ポートの規定が追加され、現状の国内答申で参照されている03版よりも厳しい。
- ・ 総務省研究会結論による測定方法はPLCモデム単体での規定であるが、CISPR22に従う場合、パソコンを含めた全系にて規格を満足することを要求される。
- ・ VCCI基準など、国内の規格では通信ポート規定は適用されていないため、これが適用されるまで、PLCにおいても適用すべきでない。
- ・ 放射妨害波の測定に関し、筐体からの放射規定も通信ポート同様、VCCIには適用されていない。PLCにおいても適用すべきでない。
- ・ 公聴会(4月18日)では、許容値案導出時に検討されていない住宅環境についての検討も加えると、許容値はもっと下げることになるとの意見が出された。
- ・ また、日経ラジオとJARLから、許容値を満足するモデムで、許容値について実証実験を行う必要があるという意見が出された。
- ・ 上記2件の意見に対し、PLC小委員会の有志グループにより、実証実験を実施することとなった。

次回の予定

未定

以 上